



城の山

〈土筆（つくし）が家庭教育に〉

今年うるう年、1年が366日ということで少し、得した気分になります。しかし、なぜ、うるう年があるのかご存知ですか。1年とは、正確には365日と6時間になっているそうです。つまり、365日で4年間過ごす、24時間のずれが生じてしまいます。そのずれを修正するために、4年に1回2月を29日までとしているそうです。

さて、例年になく温かい日が続いていたので、2月の下旬から「つくし」を探していましたが、思いのほかなかなか見つけれませんでした。小学生の頃、探さなくても普通に目に入ってきたつくしが見当たらないことに気づき、異常気象や農薬散布の影響ではないかと勝手に推測していました。

春の陽気に満ちたある日、登校中に一緒になった6年生の子供に、「最近、つくしを見かけないんだけど、あなたは、見つけたことはないね」と尋ねました。すると「見たことないです。ところで、つくしって秋の植物ですよ」と返事が返ってきました。私は、この意外な一言で絶対に見つけてこの子に教えてあげたいと思い、河原の道を歩いていました。すると、土手のあちこちからつくしが出ていました。私はその子供に、「ほら、これがつくしだよ。」と教えました。

その子も「見たことありますと。」微笑みました。正直、つくしでこんなに感動したのは初めてでした。

その後、きっと川辺小学校の子供たちの中には、つくしのことを知らない子供が他にもいるのではないかと思います、学校に帰って移植ごてをもち、つくしの生えていた現場に戻りました。そして、つくしが生えたままの状態、植木鉢に植え直し、1年生から3年生までの教室に回覧しました。また、全校朝会で幼少期の思い出の1つとして、つくしの話をしました。

そして先日、登校中の1年生の子供が、「校長先生、ぼくはこの前、自分でつくしをとったんだ。そして、お母さんに、料理に使ってと頼んでみたんだ・・・」と話してくれました。身近な植物が子供の自然を観察する目を育て、家庭で親子の話題になり、季節感を育てる体験に結びつき、素晴らしい家庭教育だと感心することでした。きっと同じようなことが他の家庭でも起きたのだろうと思うと一層、嬉しくなりました。



星空観望会～木星を見ました～

2月10日、第1回の星空観望会を開催いたしました。30名以上の親子の皆様が参加してくださり、天候は、なかなか厳しい条件でしたが、雲の合間からの時々ぞく星々に、感動し、何という名の星や星座なのか事前に学んだ知識を深めることができました。また、この体験後、家族でスターランド始良（天文観測所）に出かけた方や子供が宇宙に興味をもって、本を購入しました等の声も届いております。今後も、満点の星空の下、観望できる日を狙って、第2回の星空観望会を開催いたしますので、ぜひ、御参加ください。



〈事前に今見える星や星座について学習しました〉

5年生宿泊学習（1泊2日の冒険）

14日～15日にかけて5年生の宿泊学習

の引率をしてきました。子供たちは、自分のことだけでなく、友達やお世話になった施設の方々への心遣いも学ぶことができました。また、家族と離れて過ご



サンドアートに挑戦

し、家族への感謝の気持ちが育った子供もいました。充実した体験活動ができました。

（3月の行事予定）

- 1日（金）6年生を送る会・お別れ遠足
- 7日（木）教育相談日
- 9日（土）土曜授業
- 15日（金）特別支援学級閉級式
- 22日（金）第77回卒業式
- 25日（月）修了式・離任式

3年生（豆腐作り）1年生（昔遊び）

14日～15日、3年生は川辺の豆腐作り名人から、豆腐作りを学びました。親子で学び、とても美味しい豆腐を作ることができました。



3年豆腐作り

また、20日は、1年生が地域の先輩方から昔遊びを教してもらいました。川辺校区には、子供たちの学習に喜んで協力して下さる熱い思いをもった素晴らしい方がたくさんいらっしゃいます。これからも、こうした地域の優れた人材を生かした教育活動を充実させてまいります。



1年昔遊び

